
視点の低いメリークリスマス

太陽の道化

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

視点の低いメリークリスマス

【Nコード】

N7148Z

【作者名】

太陽の道化

【あらすじ】

年に一度の聖なる夜。彼は本当の恋を知る。そして言う、初めてのメリークリスマス。

今日は寒い日だ。

街では人々が電飾で着飾った木を眺めたり、赤い服を来てケーキを売ったりしている。まるでお祭り騒ぎだ。何がめでたいのかわからないけど、こんな寒い日によくやるよ。

ぼくは足を早める。今日は楓のところでご飯を食べよう。

楓っていうのは中学生の女の子、ぼくが関係を持つてる女の子の一人。以前街で声をかけたら簡単に家にあげてくれた。ぼくは女の子によくモテるからね。楓もすぐにぼくを受け入れて、その日は一緒に寝た。

楓は活発な子でよく気が利く。楓のお母さんもぼくには良くしてくれる。だから今日は楓の家でご飯を食べよう。

この後の夕食に思いを馳せながら道に行く。すると視界の端に白がよぎった。

一目惚れだった。電柱の傍に佇む女の子。綺麗な白い毛。スラッとした身体。近寄ってみるとすごく良い匂いがした。

『そんなところでどうしたの？ 風邪引くよ？』

『家、追い出されちゃって』

『他に行くところはない？』

『……』

『じゃあ、ぼくと一緒に来る？』

『え?』

正直チャンスだと思った。こんな可愛い子他にいない。

『でも、きつと迷惑かける』

『大丈夫さ。ぼくはたくさん家を持っているからね。その一つに君をあげるくらい大したことないよ』

『……じゃあ、お言葉に甘えて』

そして、並んで歩き始める。さて、楓には何て言おうか。

近道を通ると楓の家にはすぐ着いた。ぼくは専用の入口から入る。

「あつ、来てくれたのね? 今日はもう来てくれないかと思っちゃった。あなたの分のご飯も用意してるよ」

楓がお皿を持ってきてくれる。そこで楓は彼女に気付いた。

「あれ、その子は?」

『ああ、この子は……』

「ふふ、もう一皿持って来るから少し待っててね」

楓はぼくの答えを待たずにまた奥に引っ込んだ。どうやら彼女のことを受け入れてくれたらしい。楓はすぐに戻ってきた。

「はい、お待たせ。それとメリークリスマス! ミケ」

楓がぼくの特徴にちなんだ名前を呼ぶ。

『メリークリスマス、楓』

何がめでたいのかわからないけど、今日は何だか祝いたい気分だ。
隣でご飯に夢中になっている白を見ているだけで幸せな気分にな
る。

なるほど、これがホワイトクリスマスってやつか。

「ニヤ」

笑顔でぼくらの前にしゃがむ楓を見上げながら、もう一度祝いの
言葉を言った。

(後書き)

私猫飼ってないんですが、猫は好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7148z/>

視点の低いメリークリスマス

2011年12月24日12時51分発行